

長期治療中に複数回のリバウンドを経験した成人アトピーの経過 (30 代男性)

症例 ID：001-30-FD2 | 記録日：2009 年 7 月 24 日

1. 診断・治療前経過

前回の記録から 12 年後、治療開始から 13 年が経過してもリバウンドとの闘いが続いていました。初診時には IgE が 13000 を超えており、26 年間にわたりステロイド剤、抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬の投与を受けてきた経過があります。

治療開始直後の強いリバウンドを含め、約 4 年ごとに大きく 4 回のリバウンド症状を経験しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	外用・内服・注射を含むステロイド剤、抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬の長期使用歴があります。
製品名	詳細不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 26 年間。
中止時期	松本医院での治療開始後に中止しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
1996 年頃	治療開始初期	強いリバウンドにより 2 か月間休職しました。職場復帰後も半年ほどは数日単位の休みを取る必要がありました。
2000 年秋頃	第 2 波	全身からリンパ液が出て、強い痒み・痛み・倦怠感があり、仕事継続が困難になりました。
その後	長期経過	約 4 年ごとの波状的なリバウンドにより、人生の節目で生活や仕事の変更に迫られました。
2009 年時点	治療開始 13 年	長期にわたりリバウンドと付き合いながら、家庭や仕事を続けている経過です。

4. ピーク時期

症状が強かった時期は、治療開始直後の強いリバウンドと、2000 年秋に全身のリンパ液、激しい痒み・痛み・倦怠感が重なった時期です。

5. 検査値

項目	内容
IgE	初診時に 13000 を超える値とされています。詳細な検査日・単位は不明です。

6. 困りごと

- ・治療開始初期に2か月の休職を余儀なくされました。
- ・顔や口周りのただれを隠すためにマスクをして通勤していました。
- ・口が開きにくく、昼食がカロリーメイトと飲料中心になる時期がありました。
- ・ワイシャツにリンパ液がつくため、白いシャツを着にくい状態でした。

7. 経過のまとめ

治療開始後は約4年ごとに大きなリバウンドを経験し、休職や退職判断を含む生活上の大きな影響がありました。2009年時点では、治療開始から13年が経過し、家庭や仕事と並行しながら治療を続けていました。強い症状が続いた時期を経て、皮膚状態や日常生活の過ごしやすさに前向きな変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。